

第6回 運営懇談会

9月21日に2階地域交流ラウンジで第6回運営懇談会が開催されました。参加者は入居者とそのご家族の22名。運営懇談会とはマンションの総会や地域の自治協議会と同じ様な、入居者相互の意見交換会のことです。

今回は浦上館長より、杏心の丘の管理規定（ルール）について再確認が行われました。来訪者が宿泊される際の注意点、共用部分（自分の部屋以外）の使用について、その他注意事項に関する詳しい説明に、頷いたり、質問をしたり、利用者の皆さんも積極的に参加されました。「気持ちの良いご近所付き合いをするために、ちゃんと皆で話を聞けてよかった。」と懇談会は好評でした。

最後は、今年5月に収穫した杏を使った熟成杏子酒と杏子の実を配りました。「早く飲まん」と、皆さんとても喜ばれていました。



小さい秋 見つけた

小規模はるかぜで感じた小さい秋は、採れたて旬のピーナッツ。他にも秋を探して熊本城や江津湖へドライブに行きました。草木や空気から少しずつ季節の移り変わりを感じます。



1日日帰り職員旅行

「唐戸市場&下関ふく料理と門司港レトロ散策」の旅

10月14日と21日の2回に分けて、日帰り職員旅行が行われました。職員数も増え、営業時間もさまざま、全員一緒に旅行とはいきませんでした。2班に分かれ楽しい時間を過ごすことができました。

今回の目的地は、クリニックから大型バスで移動すること3時間、関門海峡を越えた先の山口県下関市。唐戸市場の賑わいに圧倒され、門司港レトロでは、あちこち散策したり、甘味を楽しんだり。昼食の下関ふく会席料理には新鮮なふぐとお酒に舌鼓。あっという間の1日となりました。

仕事を離れていろいろな話をして、職員同士交流を深めることができた日帰り旅行。次回の企画も楽しみです。





「杏心の丘 サービス付高齢者向け住宅」 ってどんなところ？

サービス付高齢者向け住宅とは、介護が必要な方ばかりではなく、自立をされている方も暮らす高齢者住宅です。サービス付の「サービス」とは、安否確認・緊急時の対応・生活相談等の事をいいます。もしも、将来介護が必要になっても、住み慣れた場所に住み続けるには、医療や介護が必要になります。勿論、家族のサポートも欠かせません。

杏心の丘は、デイサービスや訪問看護、看護小規模多機能型居宅介護（看多機）を併設し、春日クリニックグループとの連携により、医療・介護などのサービスを利用し、安心してずっと暮らしていける体制作りができています。

入居者別に、暮らしぶりをまとめてみました

【介護認定がなく自立の A さんの場合】

食事はお部屋で自炊をされています。お天気のいい日に徒歩で買い物に行かれたり、近くのコミセンでクラブ活動をされています。

外泊届けを出し、ご実家に泊まったり、旅行を楽しんだりされます。ちょっと疲れた日には、食事を注文し食堂で食べておられます。

安否確認、緊急時の対応で安心の毎日です。



生活には、家賃・共益費・生活相談費・光熱費・注文された分の食費がかかります。

杏心の丘での基本的な住まい方です

【要支援だがお元気な B さんの場合】

日頃の生活は、Aさんと変わりません。

介護保険を利用し、週に1回、はるかぜデイサービスと通所リハビリを交互に利用されています。クリニックは、週に1回運行される通院シャトルで、受診されます。



杏心の丘での基本的な住まい方

+ 介護サービス

クリニック・リハビリ・デイサービスと顔見知りのスタッフと情報を共有しながら、介護状態にならないよう健康を維持します。

【要介護となり不安な C さんの場合】

体調の変化で介護保険を利用しながら、日頃の生活スタイルはなるべく変えず、住んでいただけます。ヘルパーと洗濯をする・買い物に行くなど生活面をサポート。体調不良時には、ご家族のご協力のもと、看多機や訪看を利用して、心身ともに不安を解消します。ずっと住み続ける為、家族の協力と本人の住みたいという意思を尊重し、サポートします。



杏心の丘での基本的な住まい方とご家族の協力

+ 介護保険を利用して看護・介護でサポート

【ご夫婦で入居された D さんの場合】

要介護の D さん、日中は看多機を利用しておられます。その間、自立をされている奥さんは、お掃除や洗濯、食事の買い物などをして過ごされています。夕方には、Dさんが居室に戻られ、お二人で過ごされます。夜間は、奥さんが D さんのお世話をされますが、Dさんの体調不良時には、訪問看護や看多機に宿泊されたりして、不安を解消します。



杏心の丘での基本的な住まい方とご家族の協力

+ 看護・介護サポート、奥さんの生活サポート